静岡県立ふじのくに国際高等学校
国際バカロレア・ディプロマプログラム
アドミッション・ポリシー（履修者受入れ方針）

1　方針

静岡県立ふじのくに国際高等学校（以下、本校）は、「令和に誕生したフレックスハイスクールとして、生徒一人ひとりの学習スタイルやニーズを尊重し、新しい時代に対応した教育を通して、グローバルな視点を持って地域社会に貢献できる人材の育成を目指す」ことを教育目標とし、国際バカロレア機構が示す「国際バカロレアの学習者像」を踏まえたグローバル人材の育成を目指す。

(1) グラデュエーション・ポリシー

①学校内外での活動を継続しながら、自分の夢の実現に向けて努力し続ける人
②予測不能な未来に対し、生涯にわたって学び続ける姿勢と熱意を持ち、新しい考え方や方法を探究して地域社会に貢献する人
③周囲の人々の多様な価値観を受け止め、自信を持って創造的に自分を表現する人

(2) カリキュラム・ポリシー

①個に応じた学び
多様な経験を持つ生徒各自の個性を尊重して自らの取組と学業の両立を支援し、それぞれの興味・関心に対応できる選択科目や学習スタイルを提供する。
②探究的な学び
全教科で探究的な学びを意識し、生徒の学ぶ意欲や好奇心を育むとともに、地域課題の発見・解決を通して、探究し研究するスキルを育成する。
③周囲と協働した学び
地域や友人など周囲の人々の経歴や価値観を正しく受け止めるとともに、自分の考えを表現するスキルを育成する。

(3) アドミッション・ポリシー

①学校内外での活動を大切にして学業との両立を目指すなど、多様な学びを求める生徒
②自ら学び、探究することを通じて、積極的に地域社会に貢献したい生徒
③周囲の意見を謙虚に受け止め、自分の考えをしっかり述べることができるようになりたい生徒

これらのスクールミッション及び各ポリシーは国際バカロレアプログラム（IB）における 10 の学習者像の育成に合致するもので、その理念にふさわしい教育の機会をできることを占めている。

〇設置形態

項　目	内　容
課　程	単位制による定時制の課程
学　科	普通科
規　模	ディプロマ取得希望者　20 名（中間年次・卒業次生各 10 名）
修業年限	４年（多くは３年で卒業する見込み） ディプロマプログラムは中間、卒業年次の２年間の履修を想定
学　期	２学期制
設置年度	ディプロマプログラムは令和７年度から開始

２　本校の国際バカロレア・ディプロマプログラム

高等学校学習指導要領及び国際バカロレア機構が定める教育内容等の要件を満たす教育課程を編成し、生徒の学ぶ意欲や好奇心、社会や地域の課題を探究するスキルを育成する教育を展開する。

本校が採用する国際バカロレア・ディプロマプログラムは、母語を日本語、第１外国語を英語とするデュアルランゲージ・ディプロマプログラムである。

３　ディプロマプログラム履修者の決定プロセス

(1) 受講要件

・DP を受講し、DP 資格を目指す強い意志がある者

・DP の説明会、面談等に参加すること

(DP 科目を一部履修する場合は、個別対応とする。)

(2) DP 受講決定者プロセスの概要

時　期	項　目	対　象	内　容
４月１週 ２週	IB 説明会 個別相談等	生徒・保護者	DP の概要、必要経費、進路、DP 履修モデル等について説明
	模擬授業	生徒	模擬授業２科目各４回実施
	DP 希望者面談	生徒	DP の科目等について面談形式で情報提供
４月～	授業(DP 履修モデル)	生徒	DP の要素を取り入れた必履修科目を履修
	夏休み ４者面談	生徒・保護者	志望理由書等を参考に面談を実施し、意欲を確認 HL/SL の選択希望について確認 ４者（担任、DPC、生徒、保護者）
９月上旬	志望理由書 提出	生徒・保護者	DP を志望する生徒は志望理由書を作成し、提出(志望理由書には、生徒及び保護者の署名が必要)

	DP 受講者決定	生徒	生徒との面談を通して、受講の意志があることを最終確認
９月中旬	DP 科目選択	生徒	HL/SL 科目決定
１月	DP 科目	生徒	DP 科目受講開始

DP は、多大な恩恵がある一方で、厳しい学習が課されることを生徒および保護者に理解してもらわなければなりません。そのため本校は、DP を志望する生徒には学習に対する強い意欲と粘り強さや適性を期待し、そのことを生徒および保護者に説明します。また、DP を志望する生徒は、DP が開始される１月までに IB の要素を取り入れた文科科目を履修し、IB の授業を体験し、以下のような資質の向上に取り組みます。

・学びに対して目的意識を持ち、探究的に真摯に取り組む態度（探究力・自己管理力）
・他者のものの見方に注意深く耳を傾け、思いやりと共感を示し、効果的に協働して学ぶ力（協働力・コミュニケーション力）
・母語である日本語だけでなく他の言語（本校 DP では英語）を用いて、自分自身を表現する力（言語力・表現力・論理性）

(3) ディプロマプログラム履修者選考や教育内容に係る情報提供

中学生とその保護者を対象に、次の表に示す内容で、本校の教育内容（DP 科目以外も含む）に係る情報提供を行う。学校説明会では、中学生やその保護者に、学校紹介に加えて、DP の特徴や経費、DP 受講の決定プロセスに関する説明を丁寧に行います。また、当日は模擬授業を開催し、DP 科目も含め、本校で実施する科目の一部を中学生に体験してもらえる機会を提供します。

（中学生及び保護者対象の説明会等）
学校説明会、中学生１日体験授業、公開授業週間

４　アドミッション・ポリシー（履修者受入れ方針）見直しの仕組み

本方針は、管理職、DP コーディネーター、IB 推進委員会により作成され、校長決裁された。本方針は、同メンバーを中心に毎年見直しを行い、職員会議及び校長決裁を経て改訂を行うものとする。

５　高等学校卒業認定について

次の各項の条件を満たした者に対し、卒業の認定を行う。

(1) すべての必履修教科・科目の履修が認定されていること。
(2) 74 単位以上の単位を修得していること。
(3) 総合的な探究の時間を３単位以上履修していること。ただし、転・編入生については、要在籍期間分の履修が本校において認定されていればよい。
(4) 特別活動が３年間分以上認定されていること。ただし、転・編入生については、要在籍期間分の認定が本校においてされていればよい。

(5) 授業料が完納されていること。
(6) 高等学校に３年間以上在籍していること。
(7) 転・編入学生においては、上記すべての条件を満たしていても、本校に１年以上在籍し、10 単位以上を履修すること。

※卒業の認定は、職員会議の審議を経て校長が行う。

６　国際バカロレアディプロマ資格取得要件

IB ディプロマは、以下の要件をすべて満たした志願者に授与される。

(1)「CAS」の要件を満たした。
(2) 合計点が 24 点以上に達した。
(3)「知の理論」、「課題論文」、または対象科目のいずれにも「Ｎ」の評価がなかった。
(4)「知の理論」と「課題論文」のいずれにも「Ｅ」の評価がなかった。
(5)「１」の成績を受けた科目（HL または SL）がなかった。
(6)「２」の成績を受けた科目（HL または SL）が２科目以内だった。
(7)「３」以下の成績を受けた科目（HL または SL）が３科目以内だった。
(8) HL 科目で合計 12 点以上に達した（HL を４科目登録した志願者の場合は、最も高かった３科目の評点を合計する）。
(9) SL 科目で合計９点以上に達した（SL を２科目登録した志願者の場合は、SL 科目で合計５点以上に達しなければならない）。
(10) 資格授与委員会から学問的不正行為の処分を受けなかった。

改訂年月：令和８年 10 月